

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	歴史や伝統の保護・活用			総合計画コード	341
部名	生涯学習部	主管課名	文化財課	主管課部課コード	120500
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	市民が地域の歴史や文化財について身近に接する機会が増え、郷土に対する愛着や文化財保護の理解と認識が深まっている。				
施策概要	市内の文化財に関する調査を行い、保護活用を促す。郷土芸能においては継承のための活動を支援していく。また博物館資料を活用して各種展示事業や教育普及事業において活用していく。				
個別計画関連計画	計画名称	朝霞市教育振興基本計画	計画期間	H 25 年度	~ H 34 年度
		第2次朝霞市生涯学習計画後期基本計画		H 24 年度	~ H 28 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種媒体を通じて情報提供提供を行い、文化財に関する啓発を行った。</li> <li>文化財保護関係団体への補助金交付をはじめ、溝沼獅子舞の広報活動や根岸野謡の披露の場など郷土芸能に対する保護・支援を行った。</li> <li>埋蔵文化財の発掘調査等を実施、「北割・西原遺跡第10・11地点発掘調査報告書」を刊行した。また、市内4校目として第七小学校に学校教材として埋蔵文化財出土遺物の展示を行った。</li> <li>指定文化財に関しては、二本松・広沢の池・柵塚古墳歴史広場・湧水代官水等の保存管理を行った。また重要文化財旧高橋家住宅の保存・管理及び公開、活用事業を実施した。</li> <li>博物館では、古文書資料の調査を進め朝霞市博物館調査報告書第8集「朝霞市指定有形文化財 比留間家文書史料集」を刊行した。また収蔵資料を企画展示などを通じ公開に取り組んだ。</li> </ul>					
H28年度の基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	来館者が安全に利用できる施設管理				
	子育てがしやすいまち	家族で参加できる体験学習の実施と学校団体の受入れの充実				
	つながりのある元気なまち	旧高橋家住宅及び柵塚古墳におけるボランティアとの協働				
	自然・環境に恵まれたまち	武蔵野の面影を活かした地域の文化財や博物館資料の保護・活用				
総コスト(事業費+人件費)	単位:千円(決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		70,948	—	—	—	—

指標名(説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 重要文化財旧高橋家住宅来園者数 (説明)重要文化財旧高橋家住宅を訪れた人や講座に参加した人の数	人	11,640	11,680	11,720	11,760	11,800
		14,161	—	—	—	—
② (説明)						
			—	—	—	—

### 3. 施策の分析

<p>達成度  (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>● A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ○ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ○ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>(説明) 平成27年度の第三小学校に続き、第七小学校で学区内の埋蔵文化財出土遺物を展示したほか、発掘現場の現場説明会を実施することができ、また、指定文化財等の日々の巡回点検に努め、保存管理を適正に行うことで利用者に安全に公開することができた。特に重要文化財旧高橋家住宅は各種媒体を活用した広報活動に力を入れ目標を上回る来園者があった。文化財に関する市民意識の向上は図ることができた。博物館においては、ボランティア団体との連携により、古文書調査報告書の刊行や博学連携授業の充実が図られた。このことから目標を上回る成果が得られたと考える。</p>
<p>必要性  (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ● B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ○ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明) 当市の立地の利便性から開発事業が衰えない状況にあり、試掘・発掘調査は相当数の実施が見込まれる。また、歴史への関心の高まりから、重要文化財旧高橋家住宅や柗塚古墳歴史広場などの見学解説依頼が増加している。指定文化財等の保護・活用は重要な施策であり安全性の確保及び周知活動は引き続き必要と考える。伝統芸能のなかで溝沼獅子舞は春と秋に奉納の舞いがあり見学者が増加している。今後も保護・支援に努める活動が必要である。博物館においては古文書を多数所有していることから、今後も読み解きを進め調査・研究を進める必要がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>市内の文化財を市民共有の財産として後世に残していくため周辺環境を含めた保護・保存および情報提供が必要がある。埋蔵文化財については試掘・発掘調査の件数が増加し続けていることへの対応が課題となっている。伝統芸能においては高齢化が進み、後継者不足の現状がある。博物館においては、開館から20年が経過し収蔵資料が充実したことからそれらの資料の調査・研究を進める必要がある。</p>

### 4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p>																																													
<p>(説明)</p>	<p>市内の文化財については情報媒体として「あさかみどころマップ」がよく活用されており残部がわずかなことから、現マップに載っていない指定文化財を加えた新しいマップを作成し、積極的に活用していく。埋蔵文化財については試掘・発掘調査件数増加に担当できる職員の育成を始めとした事業実施の対策を講じるとともに、調査に伴い増え続ける埋蔵文化財出土遺物の保管場所の検討を行っていく。伝統芸能の各団体への支援を行っていく。博物館では収蔵資料の調査研究や、とくに点数の多い古文書の解説を進めていく。</p>																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p>○ I 行政の関与(役割)を拡大 ● II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ○ III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明) 柗塚古墳歴史広場や重要文化財旧高橋家住宅、博物館で活動するボランティア団体との連携をはかり、協働しながら文化財の保護・活用および事業の実施を進めていく。</p>																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>計 (単位:千円)</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1						2						3						4						5						計 (単位:千円)			—	—	—	<p><input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																						
	H27決算	H28決算見込																																												
1																																														
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
計 (単位:千円)			—	—	—																																									
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>文化財保護審議委員会: 委員会議で視察を行った結果、柗塚古墳歴史広場および重要文化財旧高橋家住宅は樹木が成長しすぎて、柗塚では墳丘内部に影響を及ぼしている可能性があること、旧高橋家住宅は萌芽更新を視野にいれ、計画的な剪定・伐採が必要であるとの指摘をいただいた。</p>																																													
<p>部長の意見</p>	<p>市民の歴史への関心を高めることは大切なことであり、また文化財を散策することで健康への意識が高まっていることもある。重要文化財旧高橋家住宅については、来園者の見学対応や解説、各種媒体の活用による情報提供をきめ細かく取組んでいくことで、来園者数も着実にのびていることは評価できる。今後においても、市内に残る貴重な文化財の保護・活用に引き続き取組み文化財への意識の向上に努める。</p>																																													

**施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性**

施策名	歴史や伝統の保護・活用		総合計画コード	341
部名	生涯学習部	主管課名	文化財課	主管課部課コード 120500
関連部課名	—			

施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
1	文化財保護普及事業	6,313	6,665	4	4	現状のまま
2	指定文化財等保護管理事業	16,844	16,522	4	4	現状のまま
3	埋蔵文化財調査保存事業	25,699	25,917	4	4	現状のまま
4	埋蔵文化財センター管理事業	5,805	6,466	4	4	現状のまま
5	旧高橋家住宅管理運営事業	16,299	15,378	4	4	現状のまま
6	博物館運営事業	—	—	4	4	現状のまま
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
	計 (単位:千円)	70,960	70,948	—	—	—